

# 第40回神奈川県病院学会

## プログラム／一般演題一覧

テーマ

「With／After コロナ時代の地域医療」

日時：2021年7月12日(月)

13:00～17:00

実地会場：神奈川県総合医療会館7階大講堂

神奈川県横浜市中区富士見町3-1

WEB配信 神奈川県病院協会ホームページ

当日ストリーミング 及び 7月20日～WEB配信



主催：公益社団法人神奈川県病院協会

学会長：神奈川県病院協会 会長 吉田 勝 明

学術委員長：           "           副会長 長 堀        薫

## 第 40 回神奈川県病院学会

### 協 力 団 体

(公社)横浜市病院協会	神奈川県公衆衛生協会
(公社)川崎市病院協会	神奈川県医療専門職連合会
(公社)相模原市病院協会	(一社)神奈川県医療ソーシャルワーカー協会
三浦半島病院会	(公社)神奈川県栄養士会医療事業部会
鎌倉市医師会病院会	(公社)神奈川県看護協会
湘南病院協会	(一社)神奈川県作業療法士会
湘南西部病院協会	(一社)神奈川県精神保健福祉士協会
厚木病院協会	(公社)神奈川県病院薬剤師会
大和・高座病院協会	(公社)神奈川県放射線技師会
小田原医師会病院会	(公社)神奈川県理学療法士会
足柄上病院会	(一社)神奈川県臨床検査技師会
	(公社)神奈川県臨床工学技士会
	(公社)全国病院理学療法協会神奈川県支部

(公社)：公益社団法人

(一社)：一般社団法人

記載なし：任意団体

## プログラム 目 次

	ページ
1 当日実地 プログラム	1
開 会 (13:00)	
I 特別講演 (13:15)	1
II シンポジウム (14:55)	3
閉 会 (17:00)	5
2 一般演題 (WEB 配信 7 月 12 日～31 日)	
(1) 発 表 演 題 一 覧	6
(2) 一般演題抄録集 (別 冊)	11
3 WEB 配信について	11

# 1 当日実地 プログラム

(実地会場 神奈川県総合医療会館 7階講堂 定員 100名限定)

## 開 会

13:00～13:15

総合司会	神奈川県病院協会	常任理事	三角隆彦
開会の辞	神奈川県病院協会	副会長	長堀 薫
学会長挨拶	神奈川県病院協会	会長	吉田 勝明
来賓挨拶	神奈川県 理事 神奈川県医師会	(前健康医療局長) 会長	前田 光哉 菊岡 正和

## I 特別講演 (各30分×3人)

13:15～14:45

### 特別講演 1 「新型コロナウイルス感染症対応から学ぶ 病院と地域医療のこれから」

講師 神奈川県 理事 (医療危機対策担当) 阿南 英明  
藤沢市民病院 副院長

プロフィール (あなん ひであき)  
神奈川県理事 (医療危機対策担当)  
藤沢市民病院副院長  
東京医科歯科大学医学部臨床教授  
厚生労働省専門家会議構成員  
専門は救急医学、災害医学



ダイヤモンドプリンセス号の横浜入港時の対応から始まり、市中への感染拡大に至る未曾有の医療危機に対して「神奈川モデル」という役割分担と機能集約の理念を基盤として数々の困難を乗り越えてきた。

COVID-19は一時的な危機対応策として乗り切る問題でなく、医療・病院運営に関する普遍的な課題も突き付けた。

従前の日常医療自体の漫然継続が、次の医療危機の根源にもなりうる。超高齢化社会に対する準備として我々が行動を開始すべき事項はなんであるのか、経営理念のパラダイムシフトとして必要なことはなんであるのかを見極める機会としてCOVID-19を考えたい。

## 特別講演 2 「新型コロナウイルスと都道府県の病床確保政策」 (WEB 参加)

講師 城西大学経営学部 教授 伊 関 友 伸

プロフィール (いせき ともし)  
1987年 埼玉県庁に入庁。県立病院課、  
精神保健総合医療センター等に勤務  
2004年 城西大学経営学部准教授  
研究分野は行政学。博士(福祉経営)  
2010年より 同大学経営学部教授



新型コロナウイルスへの対応で国、地方自治体において最も課題になったものは病床確保政策であった。

実際に分析をすると、都道府県の置かれた環境は全く異なり、自治体の特徴に合わせた病床確保政策が行われていることが分かった。全国の都市自治体の分析結果と神奈川県病床確保政策について議論を行う。

## 特別講演 3 「COVID-19 国内第1例目の受け入れから現在まで」

講師 相模原協同病院感染対策室室長 看護師長 眞 野 彩

プロフィール (まの あや)  
2006年 横浜労災看護専門学校卒業  
同年 横浜労災病院入職  
2011年 JA神奈川県厚生連  
相模原協同病院入職  
2018年 感染管理認定看護師認定資格取得  
2019年 JA神奈川県厚生連 感染対策室専従、  
現在に至る



2020年1月10日の1本の電話が、COVID-19国内第1例の受け入れの始まりであった。

あの日から今日まで、COVID-19に翻弄され、日々奮闘してきた。当院はこの1年半で、200名以上のCOVID-19患者を受け入れてきたが、その間には、風評被害、職員の感染、病院の経営難に見舞われた。

しかし、地域の中核病院としての使命感と責任感から、患者の受け入れを止めることはなかった。目まぐるしく変化する国の方針や情勢に振り回されながらも、職員一丸となってCOVID-19の対応に取り組んできた。早期からワクチン接種も開始し、市民の接種率の向上に協力している。国内第1例目から現在に至るまでの活動を報告する。

\*\*\*\* 休憩 (10 分間) \*\*\*\*

# 「With／After コロナ時代の地域医療」

座長 神奈川県病院協会 副会長 (神奈川県病院協会学術委員長)  
横須賀共済病院 病院長 長堀 薫

プロフィール (ながほり かおる)  
1978年 横浜市立大学医学部卒業  
米国City of Hope 研究員  
山梨医科大学第1外科  
・横浜市立大学第2外科 講師  
2001年 横須賀共済病院 外科部長  
副院長等を経て2014年 より病院長



## 座長から一言

クルーズ船に端を発した今回のパンデミックは、PCR 検査やワクチン開発の不全、デジタル化の遅れ、すぐ逼迫してしまう医療体制など、残念ながら日本の抱える脆弱性を曝すこととなった。その中で、県主導の対新型コロナウイルス診療の「神奈川モデル」は明確な指針を示し、呼応した各医療機関とガバナンスの取れた診療態勢を取ることができ、一定の評価をえられるのではないだろうか。

しかし、各場面で最善手であったかについては、検証される必要がある。また、ワクチン接種後に落ち着いていくステージでの、新たな医療体制について検討してみたい。

## 1 シンポジスト課題提起

(約1時間)

### ① 神奈川県衛生研究所長 高崎 智彦 「変異ウイルスと次世代シーケンサー」

プロフィール (たかさき ともひこ)  
1982年 大阪医大卒業、耳鼻咽喉科にて臨床研修  
大阪府済生会中津病院耳鼻咽喉科医員  
1987年 より HIV 研究で UCLA に留学  
1989年 大阪医大助手 (耳鼻咽喉科)  
1991年 近畿大学医学部細菌学教室講師  
1998年 国立感染症研究所ウイルス第一部室長  
2016年 より 神奈川県衛生研究所長



新型コロナウイルスの変異スピードは、感染力の増した N501Y 変異株が主流流行株になった現在でも年に 30.6 塩基変異と決して早いわけではない。ただ重要な変異はスパイク領域に集中しており、ゲノム解析でモニターすることは重要である。

しかし次世代シーケンサー (NGS) の消耗品の入手が困難な状況である。これは NGS の国産開発を断念した過去に遡る。第一波では PCR の前処理として RNA 抽出キットが入手困難に陥った時期があった。『国防ともいえる感染症対策』の一環として次世代シーケンサーの国産化を含めてウイルスのゲノム解析に関する課題を提起する。

② 医療法人社団小磯診療所  
理事長 磯崎哲男

「横須賀における在宅医療の病診連携  
/ コロナ時代の地域医療について」

プロフィール (いそざき てつお)  
1995年 横浜市立大学医学部卒  
1997年 同大学第3内科(消化器内科)  
1998年 横須賀共済病院  
2002年 NTT 東日本関東病院消化器内科  
2004年 小磯診療所 理事長・院長



当院では毎年 200 名以上の看取りを行なっている。そのうち半数以上はがん症例である。ほとんどが市内基幹病院から紹介症例である。クリニック医師が基幹病院の非常勤医となり、退院前に病室で患者本人と主治医と面談している。非常勤医となることで電子カルテにアクセスして患者情報を得ることも可能となる。

また新しい取り組みとして、病棟医が在宅の現場を手伝う取り組みを行っている(アルバイト)。在宅の現場を病棟医が知ることにより、自宅退院へのハードルが下がっている。そのほか、郊外ならではのコロナ対策について述べたいと思う。

③ 神奈川県病院協会 理事  
県立足柄上病院

病院長 牧田浩行

「新型コロナウイルス感染症『神奈川モデル』の  
重点医療機関としての1年あまり」

プロフィール (まきた ひろゆき)  
1990年 滋賀医科大学医学部卒業  
2012年 県立足柄上病院整形外科部長  
2015年 横浜市立大学臨床教授  
2015年 県立足柄上病院副院長  
2017年 同 病院長



令和2年2月5日にクルーズ船内のCOVID-19患者が搬送され、その日からこの戦いが始まった。その後市中の感染者数が増加し、4月1日には県から重点医療機関と指名され全病床でCOVID-19患者の治療にあたるよう指令が下った。院内では異様な緊張が走る中、急ピッチで態勢を整え対応したが、同時に地域の中核病院として果たすべき役割を犠牲にせざるを得ず断腸の思いであった。

幸い感染者数は当初の予想を下回り、昨年6月以降はCOVID-19対応と通常診療とを両立させているが、感染拡大の波の中で中規模病院の運用は容易ではなかった。

## シンポジウム

### 2 意見交換 (約1時間)

シンポジスト3名 × 特別講演演者3名 × 会場

座長 長堀 薫

特別講演演者

阿南英明  
伊関友伸 (WEB)  
眞野 彩

シンポジスト

高崎智彦  
磯崎哲男  
牧田浩行

### Ⅲ シンポジスト等への感謝状贈呈

16:50～16:55

### 閉会

16:55～17:00

神奈川県病院協会 常任理事

相模原協同病院名誉院長 高野 靖 悟

WEB 配信 神奈川県病院協会ホームページをご覧ください。



## 2 一般演題 (WEB 配信)

### (1) 発表演題一覧

お名前は、発表代表者のみ記載させていただきました。  
共同研究者等のお名前は、該当のホームページ  
か、一般演題抄録集（別冊）をご覧ください。

- 1 医療療養病棟において身体拘束の解除に至った一事例の考察  
～リハビリスタッフと看護師との情報共有の重要性

横浜鶴見リハビリテーション病院 看護部  
長尾 雄太

- 2 新型コロナウイルス感染症クラスターを経験して

クローバーホスピタル 地域包括ケア病棟師長  
兼副看護部長  
古川 幸代

- 3 A病院が取り組んできた「with コロナの訪問診療」成果と課題

クローバーホスピタル 在宅診療部 看護主任  
宮地 朋子

- 4 新型コロナウイルス感染症患者家族に対する終末期医療

－ 終末期となった患者と家族への支援のあり方－

藤沢市民病院 看護部 救急 ICU  
佐々木 彩

- 5 A病院における認知症ケアと身体拘束削減に向けた取り組み

クローバーホスピタル 医療療養・特殊疾患病棟/看護師長  
佐藤 朋子

- 6 災害拠点病院における防災訓練実施報告

－ コロナ禍に対応した訓練の試み－

横須賀共済病院 B棟2階病棟(防災災害対策委員会)/看護師長  
種山 和枝

- 7 COVID-19 中等症患者受入れ病棟における現状報告

－ 感染管理に対する取り組み－

横須賀共済病院 C棟2階病棟/看護師長  
西方 真奈美

- 8 コロナ禍における地域社会との交流の実際

横須賀共済病院 ブランド推進室  
千葉 由美

9 A 病院における外来患者満足度調査の報告

～医療の質向上を目指して～

伊勢原協同病院 看護部 外来  
三澤 洋子

10 2021 年 COVID-19 における看護師派遣についての活動報告

相模原協同病院 看護部・4S 病棟  
小俣 勝弘

11 早期から行った新型コロナウイルスワクチン集団接種の取り組み  
と副反応報告

相模原協同病院 看護師・感染対策室  
神野 祐子

12 小児科外来での舌下免疫療法導入時における薬剤師の関与

相模台病院 薬剤部  
多田 彬絵

13 病院薬剤師版バランスト・スコアカード導入に向けての取り組み

ー コロナ禍における Web-SGD の可能性 ー

神奈川県病院薬剤師会 ファーマシーマネジメント委員会  
小田切 正美

14 COVID-19 パンデミックにおける国民の関心と情報検索行動

～ Google Trends による分析 ～

相模台病院 薬剤部  
相澤 政明

15 地域医療を支える連絡手段の整備計画について

神奈川県病院薬剤師会 会員・広報出版委員会  
小杉 満孝

16 地域フォーミュラリ作成の取り組みと課題

横浜南共済病院 薬剤科  
薬局長／臨床研究センター 副センター長  
中島 研

17 吸入療法における地域連携マネジメント

横須賀共済病院 薬剤科  
吉良駿太郎

18 バラリスト・スコアカード継続活用による  
薬剤部門マネジメントへの効果

横浜総合病院 薬剤部  
廣瀬 直樹

19 当院における被曝低減の歩み

金沢文庫病院 放射線科  
敦賀 亮太

20 当院 COVID-19 入院患者におけるポータブル X 線撮影の検討

伊勢原協同病院 医療技術部 放射線室  
小野寺幸紀

21 それ、本当に陽性ですか？

平塚市民病院 細菌検査室 兼感染対策室  
間地 知子

22 コロナ禍における当院生理検査室の取り組み

横須賀共済病院 中央検査科 生理検査室  
清水 菜緒

23 COVID-19 ワクチン『コミナティ筋注 R』接種後の効果  
と副反応についての調査

相模原協同病院 臨床検査室  
塩見 理紗

24 新型コロナウイルス感染症に対する当院検査科の取り組み

横須賀共済病院 中央検査科  
難波真砂美

- 25** With コロナ時代での外来リハビリテーション運営  
相模原協同病院 医療技術部 リハビリテーション室 次長  
佐藤 陽介
- 26** コロナ禍に養成校を卒業したリハビリテーション専門職  
の不安への対応と今後の課題  
横浜鶴見リハビリテーション病院 リハビリテーション技術科  
佐伯 まどか
- 27** 急性期病院から地域へ発信  
～「食」を支える支援を目指して～  
金沢文庫病院 リハビリテーション技術科  
鈴木 奈菜
- 28** コロナ禍における MSW の覚悟と挑戦  
-職場外・職場内・自己研鑽の3つの視点から-  
横浜医療センター 相談支援センター  
高瀬 昌浩
- 29** 病病連携でクラスターを防ぐ仕組みの構築  
～4病院間PCR連携～  
平塚市民病院 経営企画課  
加藤 亮介
- 30** 横須賀共済病院 RPA 導入報告  
横須賀共済病院 事務部長付  
澤田 洋輔
- 31** 医療機関のコンプライアンス推進体制の構築  
～法務・コンプライアンス室の事例～  
社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会  
横浜市東部病院 法務・コンプライアンス室  
荒川 隆
- 32** 手術室稼働状況の多角的な集計  
社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会  
横浜市東部病院 法務・コンプライアンス室  
乳井 亮介

## 2 一般演題（WEB 配信）

### (2) 一般演題抄録集

（別冊 第 40 回神奈川県病院学会／一般演題抄録集）

## 3 WEB 配信について

### (1) 配信期間

開始 2021 年 7 月 12 日 一般演題 WEB 配信開始  
特別講演及びシンポジウム 実地ストリーミング配信  
(リアルタイム)

〃 20 日 編集後 特別講演及びシンポジウム WEB 配信開始

終了 〃 30 日（予定）

### (2) ホームページ

神奈川県病院協会ホームページ

URL <https://www.k-ha.or.jp/>

（トップページ右から左に移動する紫色のタイル）

7 月 1 日から WEB 参加の受付開始「第 40 回神奈川県病院学会」  
から、お入りいただき、メールアドレスを入力ください）



## 公益社団法人神奈川県病院協会

〒231-0037 神奈川県横浜市中区富士見町3-1

神奈川県総合医療会館4階

TEL 045 (242) 7221 (代表)

FAX 045 (231) 1794

無断転載禁止

